

令和 8 年度

特 別 選 抜
(私費外国人留学生入試)
学 生 募 集 要 項

工学部・生命環境学部



目 次

1. 入学者受入方針（アドミッションポリシー）	1
2. 入学者選抜日程	7
3. 募集人員（入学定員）	8
4. 出願資格	9
5. 出願手続	11
6. 障害等のある入学志願者の事前相談	17
7. 受験票	17
8. 選抜方法	18
9. 受験上の注意	20
10. 合格者発表	20
11. 入学手続	21
12. 入試情報の開示	21
13. 個人情報の取扱い	21
14. 安全保障輸出管理	22
15. 入学試験における感染症対応	22
16. 甲府キャンパス案内図	23

募集要項について

不測の事態（災害等）により、本募集要項の内容とは異なる方法で選抜を実施する場合があります。変更が生じた場合はホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>) に最新の情報を掲載しますので、隨時確認してください。

表記一覧表 この募集要項では、以下のとおり略語を使用します。

学 部 名 称	
学 部	表記
教育学部	教育
医学部	医学
工学部	工学
生命環境学部	生命

選 択 名 称	
選 択 区 分	表 記
一般選抜 前期日程	前期
一般選抜 後期日程	後期
学校推薦型選抜 I	推 I
学校推薦型選抜 II	推 II
総合型選抜 I	総 I
総合型選抜 II	総 II
私費外国人留学生入試	私費

1. 入学者受入方針（アドミッションポリシー）

山梨大学の入学者受入方針（アドミッションポリシー）は、まず、本学が求める人物像と入学者に求める資質・能力を示し、学部ごと、および学科・コース等ごとに、育成目標、入学者に求める資質・能力、人物像、入学前に学習しておくことが期待される内容、試験区分別の入学者選抜の基本方針を示しています。

そのうち、「育成目標」は、本学の学位授与方針（ディプロマポリシー）、教育課程編成・実施方針（カリキュラムポリシー）との一貫性を意識し、入学後にどのような力を発展・向上させるのかを簡潔に示したものです。「入学者に求める資質・能力、人物像」には、入学前にどのような多様な能力をどのようにして身に付けてきた学生を求めているか、入学後にどのような能力をどのようにして身に付けられる学生を求めているかなどを示しています。「試験区分別の入学者選抜の基本方針」は、入学者選抜において、入学者受入方針を具現化するためにどのような評価方法を多角的に活用するのかなどを説明しています。なお、「入学前に学習しておくことが期待される内容」も学部ごと、および学科・コース等ごとに示していますので、希望する学部、学科・コースに合わせて、高等学校での学習の参考にしてください。

理念・目的

豊かな人間性と倫理性を備え、広い知識と深い専門性を有して、地域社会・国際社会に貢献できる人材を養成する教育・研究を行います。

キャッチフレーズ

地域の中核、世界の人材

教育目標

個人の尊厳を重んじ、多様な文化や価値観を受け入れ、自ら課題を見いだし解決に努力する積極性、先見性、創造性に富んだ人材の養成を目指しています。

求める人物像

山梨大学は、「地域の中核、世界の人材」の標語の下、地域の知の拠点として、専門性をもって世界で活躍できる人を育てるこことを目指しています。これを実現するため、学部・学科などの教育プログラムには、学位授与方針に定められる資質・能力（コンピテンシー）をすべて身につけられるカリキュラムが編成されています。本学では、知的好奇心をもちカリキュラムに沿って継続的・主体的に学修し、卒業後は専門分野に関する高度な能力を通じて社会に貢献する志をもつ人を求めます。ただし、入学時において以下のような基礎的な資質能力を備えていることが必要です。

入学者に求める資質・能力*

- ・高等学校で履修する、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語等について、内容を理解し、高校卒業程度の知識。
 - ・各教育プログラムの学修に必要な資質・能力（思考力・判断力・表現力など）。
- *ここでは入学試験で評価できる項目のみが挙げられており、順法の精神など、社会通念上大学生が当然備えているべき項目までは記載していません。

(1) 工学部

理念・目的

広い教養と深い専門知識を身につけ、豊かな想像力と優れた判断力を備えた、将来を担う工学系技術者を養成します。

育成目標

未来世代を思いやるエンジニアリング教育

工学部のキャッチフレーズ「未来世代を思いやるエンジニアリング教育」を指針とし、工学技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に負っている責任を理解し、科学的知見と技術を総合して社会的課題を解決する能力、すなわちエンジニアリングデザイン能力を身につけた人材を養成します。

求める資質・能力、人物像

工学部では、工学系技術者となって社会に貢献しようとする意欲をもつ、次のような人を求めています。

- 4年間学び抜くことができる学力と強い意志を有していること
- 工学または各コースで学ぶ内容に強い興味と適性を有していること
- 工学を学ぶ上で必要となる数学、理科の基礎力を有していること

- 多様な情報を分析し、主体的に判断できること
- 国語、地歴公民など高校で履修する幅広い科目により人間や社会に関する基礎的な知識や興味を有すること
- 書かれた文章を理解し、利用できること。また、学んだことや自らの考えを論理的な文章で表現できること
- 國際的なコミュニケーション能力の基本として基礎的な英語の語学力を有し、入学後も積極的に学ぶ意欲を有すること
- 実験や観察の計画や実行に積極的に取り組んだ経験があること

工学科

試験区分別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、「日本留学試験」を課すことで、日本の大学等で必要とする日本語力及び基礎学力を評価します。これに加えて、出身学校長が発行した「成績証明書」、「TOEFL 又は TOEIC の成績」を基に、数学・理科・英語の基礎学力を総合して判定し、合格者を決定します。

クリーンエネルギー化学コース

育成目標と求める能力・人物像

人類の持続的な発展のためエネルギーの確保、環境の保全は最重要課題です。本コースでは、環境にやさしく高効率なエネルギー創製、利用に関する専門知識や技術を備えた、この最重要課題の解決に貢献できる技術者・研究者の養成をめざしています。本コースの卒業生は、クリーンエネルギー技術の社会実装実現を担う企業、たとえば自動車メーカー、電気機器メーカー、材料メーカーなど様々な分野において活躍することができます。そのために、次のような人を求めています。

- 化学のなかでも特にエネルギー材料、エネルギー変換・貯蔵技術などのクリーンエネルギー化学に対する強い興味をもつ人
- クリーンエネルギー化学の学問、研究を通じて人類の持続的な発展に寄与する意欲をもつ人
- 理科（特に化学）、数学、英語の基礎学力があり、さらに深く学ぶ意欲をもつ人

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、情報、地歴公民の内容を十分に理解しておくことが必要です。クリーンエネルギー化学は化学を基礎として、物理・生物・地学を含めた広い視点から、エネルギーや環境などの諸問題に取り組む分野です。化学全般の内容を深く理解するとともに、理科全般の素養、さらには研究結果の解析に必要な数学、文献の読解やコミュニケーションに必要な国語・英語の基礎学力を備えていることを期待しています。

応用化学コース

育成目標と求める能力・人物像

応用化学を学んだ技術者は、材料・化学メーカー、エネルギー関連、電気・電子、機械、自動車、製薬、食品、化粧品、装置製造産業、環境分析など様々な分野における新規材料開発および計測などに携わることができます。本コースでは、化学の専門知識と実験技術を修得し、新素材・エネルギー・環境等の課題を解決できる技術者・研究者の育成を目指しています。そのため、次のような人を求めています。

- 化学に対する強い好奇心をもち、新素材・高機能物質の開発やエネルギー・環境等の問題解決に意欲のある人
- 化学、物理、数学、英語の基礎的な学力を有する人

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、情報、地歴公民の内容を十分に理解しておくことが必要です。化学はもちろんのこと、数学や物理の基礎学力は実験結果の解析に必要となります。また、外国の専門誌を読んだり、レポートを作成したりするためには、英語や国語の力が必要です。化学だけでなく化学以外の科目やそれらと化学との境界領域にも興味をもって勉強しておくことを期待します。

土木環境工学コース

育成目標と求める能力・人物像

土木環境工学を学んだ技術者は、国土交通省をはじめとする国家公務員、都道府県、市町村の地方公務員、総合建設業の技術者、設計コンサルタントとして、社会資本の整備や維持管理に携わっています。また、同技術者には道路、運輸等の公共企業、電力、ガス、通信等の公益企業、環境衛生エンジニアリング、住宅建設と、幅広い活躍の場があります。

す。本コースでは、このような分野で活躍する「土木工学と環境工学に関する幅広い基礎知識・技術を併せ持ち、持続可能な社会の構築に意欲的に貢献できる技術者」の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 自然環境と調和した社会基盤整備の知識・技術を修得し、災害に強く、環境に配慮した安全で快適な地域づくり・まちづくりに携わりたい人
- 防災・減災、都市環境、社会資本の維持管理など、土木環境工学の最先端について学びたいという意思のある人

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、情報、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。土木環境工学は自然や社会との接点が大きい分野です。解析や設計に直接通じる数学や物理の学力だけでなく理科全般の素養と、自分の言葉で社会とコミュニケーションするために、国語、英語、地歴公民の素養を身につけていることを期待しています。

コンピュータ理工学コース

育成目標と求める能力・人物像

コンピュータ理工学を学んだ技術者は、スマートフォンなどの情報機器やネットワークシステム、ソフトウェアの開発・運用管理、情報通信系のサービス、自動車や電機などの製造業などで活躍しています。また、人工知能技術を駆使したデータ解析の技術者は、いまや情報分野に限らず幅広い分野で必要不可欠な人材です。本コースは、そのような幅広い分野で活躍できる技術者、研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 情報科学技術や大規模ソフトウェアの設計開発、ものづくりに対する強い好奇心をもち、将来、専門知識・技術を備えた情報処理技術者・研究者になりグローバルに活躍することを目指している人
- 数学、理科、国語及び英語の基礎的な学力を有する人

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、情報、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。コンピュータ理工学は、情報化社会の基盤と密接に関連しています。したがって、情報システムや機器の設計・解析手法を学ぶための理工系の素養の他に、国内外の文化や慣習、社会情勢などに対する知識や理解とともに日本語や英語によるコミュニケーション能力を備えていることを期待しています。

機械工学コース

育成目標と求める能力・人物像

人間と機械との結びつきを理解し、自然保護と社会の繁栄さらに人類の幸福に貢献できる技術者の育成を目指しています。具体的には数学・物理などの数理知識を自動車・航空・宇宙産業や医工学分野さらに動力エネルギー分野などへと応用する技術を習得します。そのために、次のような人を求めています。

- 数学・理科・英語の基礎学力があり、なおかつ学習意欲がある人。理科の中では特に物理を重視します。
- 実験などを通して身の周りの自然現象の観察に興味のある人
- 人と機械とが関わるものづくりに興味のある人
- 独創的な発想で機械の技術革新をしようとする人

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、情報、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。機械工学は物理を基礎として、また数学を駆使して構築されている工学分野です。数学、物理の本質を理解するとともに、また、国際的に活躍できる人材となるために不可欠な英語の素養も身につけてくることを期待しています。

メカトロニクスコース

育成目標と求める能力・人物像

産業・民生用ロボットなど近年の電子機械製品は機械・電気・情報の3分野の技術の融合体であり、いずれの技術が欠けても成り立ちません。本コースでは、これら3分野にまたがる知識や技術を利用して、社会で求められている電子機械製品の開発などの実践的な課題を解決できる技術者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- コンピュータで制御された電子機械製品の研究や開発をはじめとした幅広い分野に興味を持ち、社会で求められている技術や製品の実現に意欲を持っている人
- 数学、理科、英語の基礎学力があり、なおかつ学習意欲がある人。理科の中では特に物理を重視します。

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、情報、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。またメカトロニクスコースは、電気・情報・機械の幅広い分野に関連しています。従って、分野を問わず最先端技術に興味を持つと共に、その基礎となる物理、数学などの本質を理解するようにしてください。

電気電子工学コース

育成目標と求める能力・人物像

電気電子工学は材料・素子から、素子を組み合わせた回路、複数の回路を結合した装置、装置やソフトウェアを統合したシステムに至るまで、様々な対象を取り扱う幅広い学問分野であり、その成果はほぼ全ての社会基盤に必要とされています。本コースは、電気電子工学を駆使して社会で活躍する技術者、研究者の育成を目指しています。そのため、次のような人を求めています。

- 電気電子工学に強い興味と関心を持ち、将来は、太陽光発電を含む発送電システム、スマートフォンなどのICT機器・通信システム、医療機器、自動運転車や電気自動車などの交通システム、鉄道などの社会インフラ、またこれら全てを支える大規模集積回路の研究、設計、整備、運用など、様々な分野と立場で活躍する意欲をもつ人
- 数学、理科、英語の基礎学力があり、さらに深く学ぶ意欲がある人。理科のなかでは特に物理を重視します。

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で学ぶ数学、理科、英語、国語、情報、地歴公民の内容を十分に理解していることが必要です。特に、物理と数学の本質を理解するとともに、電気、磁気、光、電子に関する物理現象に興味を持って勉強してください。

(2) 生命環境学部

理念・目的

自然と社会の共生科学に基づき、広い視野と深い専門知識を身につけ、持続可能な地域社会の繁栄を担う人材を養成する教育・研究を行います。

育成目標

自然と社会の共生科学の創生

本学の入学者受け入れ方針に加え、自然と社会の共生科学に基づき、広範な知識を統合し、問題を発見し解決する能力を身につけ、持続可能な地域社会の繁栄に貢献できる人材の育成を目指しています。そのために、文理融合の視点から生命・食・環境・経営などの諸課題を多角的に分析し、その解決に向けて実践的に取り組むことのできる教育・研究を行います。

求める資質・能力、人物像

生命環境学部では、「自然と社会の共生科学の創生」を目指し、次のような資質と能力を持つ人を求めています。

- 高等学校で履修する各教科・科目をまんべんなく学修し、基礎知識を身につけていること
- 自然環境の成り立ちや生物の多様性などを理解するために、理科（物理、化学、生物、地学）や数学、情報など、自然科学や数理科学の基礎学力を身につけていること
- 社会の特質や人間としての在り方などについて理解するために、社会科学の基礎となる社会（地理、歴史、公民）の基礎学力を身につけていること
- 文章を読解したり自らの考えを論理的な文章で表現したりするために、国語の基礎学力を身につけていること
- グローバルな問題に取り組むために、必要な基礎的な外国語の能力を有すること
- 実験やフィールド調査を自主的かつ継続的に取り組むことのできる行動力を有すること
- 教員や先輩、友人、留学生等と積極的に対話できるコミュニケーション力を有すること

生命工学科

育成目標と求める能力・人物像

バイオインフォマティクス、ナノバイオテクノロジー、ゲノミクスをはじめとする先端バイオを学ぶことにより、食品生産、健康増進、再生医学、バイオエネルギー、環境保全などに関する新しい技術を創出する能力を身につけ、各分野の技術者や研究者の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- バイオサイエンスを理解し、バイオテクノロジーを身につけるために、生物を中心とした学問領域に加え、多様な物質を扱う化学に関する知識を有していること
- 論理的思考力を養うため、数学の素養を身につけていること
- 入学試験で課している科目について、十分な学力を有していること

入学前に学習しておくことが期待される内容

バイオサイエンスを理解し、バイオテクノロジーを身につけるために、生物を中心とした学問領域に加え、多様な物質を扱う化学に関する知識が必要です。論理的思考力を養うため、数学の素養も期待しています。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が作成した、最終卒業高等学校の成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

地域食物科学科

育成目標と求める能力・人物像

果樹や野菜などの農作物の栽培、食品やワインの製造、及びその栄養・有用成分の機能と利用などに関する食物科学や農学の知識・技術を習得し、食料問題の解決に生かせる人材の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 本学科の教育研究の内容を理解するための基礎となる授業科目（生物、化学、物理学、数学等）を十分に理解できていること
- 自らの考えを論理的に伝える基礎として、高等学校で学ぶ国語・英語を身につけていること
- 食料生産・利用あるいはワイン製造に関する問題解決に向けて、主体的に粘り強く自己研鑽につとめる熱意と実行力があること
- 本学科で学んだことを活かして地域社会で活躍したいという目的意識と向上心があること

入学前に学習しておくことが期待される内容

食物生産あるいはワイン製造に関する課題を解決するためには、原料の生産・加工・利用等を含む総合的な知識が必要です。したがって、高等学校で学ぶ化学・生物などの理科科目を十分に理解できていることを望んでいます。また、自らの考えを論理的に伝える基礎として、高等学校で学ぶ国語・英語を身につけておくことを期待しています。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が作成した、最終卒業高等学校の成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

環境科学科

育成目標と求める能力・人物像

豊かな自然環境を次世代に残すために必要な知識や技術を学ぶことによって、自然と共生した持続可能な社会の形成に貢献できる人材の育成を目指しています。そのために、本学および生命環境学部で定めた入学者受入方針に加えて、次のような人を求めています。

- 自然の仕組みや自然と人間との関係に興味があり、それを追究するための知識や方法を深く学ぶ意思のある人
- 環境に関わる学問的課題や社会的課題を自ら見出し、広い視野と深い思考力に基づき、他者と協働しながら課題解決に向けた取り組みができる人

入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校で履修した数学や情報、物理、化学、生物、地学といった理系科目に加え、自分の言葉で他者とコミュニケーションをとるための国語や外国語の素養が身についていることを望んでいます。さらに、地理歴史、公民といった社会系科目に対する理解と同時に、環境に対する関心や興味を持っていることを期待しています。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が作成した、最終卒業高等学校の成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

地域社会システム学科

育成目標と求める能力・人物像

経済・経営・行政に強い関心をもち、経済・経営・政策に関する社会科学および数学的な見方や考え方を学び、国際的視野をもって、観光や食をはじめとする産業創造等を通じ地域社会の持続的な発展に貢献できる人材の育成を目指しています。そのために、次のような人を求めています。

- 普段から新聞や書籍を読み、政治・経済の動向や現代社会の問題に強い関心を持っている人
- さまざまな学問分野の成果を自ら取り込む真摯な姿勢とこれをさまざまな場面で生かす能力がある人
- 科学的知見に基づき地域社会の繁栄の実現に貢献できる人

入学前に学習しておくことが期待される内容

日常的に新聞や書籍を読み、政治・経済の動向や現代社会の問題へ関心を寄せる習慣を身につけておくことを期待しています。

試験区分別の入学者選抜の基本方針

私費外国人留学生入試では、大学入学共通テストを免除し、日本留学試験、本学が実施する面接試験及び出身学校長が作成した、最終卒業高等学校の成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、合格者を決定します。

2. 入学者選抜日程

選抜区分	私費外国人留学生入試	
実施学部	工学部	生命環境学部
出願期間	2025 年 12/19(金) ~ 12/25(木)	
選抜期日	書類審査のため来学不要	2026 年 1/30(金)
合格者発表	2026 年 2/10(火)	
入学手続	2026 年 2/12(木) ~ 2/18(水)	

* 全体に関する留意事項

- 入学式は 2026 年 4 月上旬を予定しております。

3. 募集人員（入学定員）

学部	課程・学科・コース・系	入学定員	一般選抜		学校推薦型選抜					総合型選抜		私費	合計		
			前期	後期	I	I (女子枠)	I (A)	I (B)	I (C)	II	I	II			
教育学部	幼児教育コース	110	3	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	7	
	障害児教育コース		10	4	-	-	4	-	-	-	-	-	-	18	
	言語教育コース		6	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	13	
	英語教育系		-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
	生活社会教育コース		6	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	14	
	家政教育系		-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	数学教育系		-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
	理科教育系		-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	22	
	技術教育系		-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	音楽教育系		-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	芸術身体教育コース		5	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	16	
	美術教育系		-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	保健体育系		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	やまなし小学校教育コース		-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	20	
	計		110	41	17	-	-	30	2	20	-	-	-	110	
● 学校推薦型選抜 I は、I (A) 教科別推薦入試、I (B) 専門・総合学科推薦入試、I (C) 山梨県の小学校教員志望者推薦入試の3つに区分して実施します。															
医学部	医学科	125	-	90	-	-	-	-	-	35 以内	-	-	-	125	
	看護学科	60	30	5	25	-	-	-	-	-	-	-	-	60	
	計	185	30	95	25	-	-	-	-	35 以内	-	-	-	185	
工学部	クリーンエネルギー化学コース	365	(18)	-	4	2	-	-	-	-	6	3	若干	33	
	応用化学コース		(18)	-	4	2	-	-	-	-	6	3	若干	33	
	土木環境工学コース		(30)	-	8	2	-	-	-	-	3	3	若干	46	
	コンピュータ理工学コース		(47)	-	8	2	-	-	-	-	6	12	若干	75	
	機械工学コース		(32)	-	8	2	-	-	-	-	3	3	若干	48	
	メカトロニクスコース		(29)	-	8	2	-	-	-	-	3	3	若干	45	
	電気電子工学コース		(29)	-	8	2	-	-	-	-	3	3	若干	45	
	総合工学枠		(10)	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40	
	計		365	213	30	48	14	-	-	-	-	30	30	若干	365
	● 前期日程において複数コースの併願が可能です。従って()の人数は目安であり、コース毎の合格者数が増減することがあります。最終的に工学科全体で募集人員を確保する方向で調整します。														
	● 総合工学枠合格者は2年進級時に第1希望または第2希望で所属コースが決定されます。														
生命環境学部	生命工学科	50	30	8	12	-	-	-	-	-	-	-	若干	50	
	地域食物科学科	37	30	5	-	-	-	-	-	-	-	2	若干	37	
	ワイン科学特別コース		(13)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(13)	-	
	環境科学科	30	20	5	-	-	-	-	-	-	-	5	若干	30	
	地域社会システム学科	48	40	5	-	-	-	-	-	-	-	3	若干	48	
	観光政策科学特別コース		(10)	(1)	-	-	-	-	-	-	-	(2)	-	(13)	
	計	165	120	23	12	-	-	-	-	-	-	10	若干	165	
	● ワイン科学特別コース志願者は前期日程において、地域食物科学科との併願が可能です。観光政策科学特別コース志願者は前期日程と後期日程において、地域社会システム学科との併願が可能です。()の人数は募集人員の内数であり目安です。														
合 計		825	404	165	85	14	30	2	20	35 以内	30	40	若干	825	

- 各選抜方法による合格者数が募集人員から増減することがあります。最終的に入学定員を確保する方向で調整します。

4. 出願資格

- 日本留学試験のうち、本学が指定する教科・科目を受験していない方は出願を受理することはできません。必ず「日本留学試験 本学が指定する科目・得点」(10 ページ) を確認してください。
- 出願できるのは、1 学科又は 1 コースのみです。

次の各号の全てに該当する方又は【2026 年 3 月 31 日】までに該当する見込みの方

- (1) 日本国籍を有さない（日本国の永住許可を得ていない）方
- (2) 出入国管理及び難民認定法に定める「留学」の在留資格を有する方
*留学以外の在留資格を有する方は、入学手続後ただちに在留資格の変更手続を行うこと
- (3) 日本学生支援機構が実施する 2025 年度日本留学試験（第 1 回又は第 2 回）のうち、本学が指定する科目を受験し、本学が指定する得点（10 ページに掲載）を満たしている方
- (4) 2024 年 1 月以降に本学が指定する TOEFL 又は TOEIC（15 ページに掲載）を受験している方
- (5) 次の各項目のいずれかに該当する方
 - ① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した方又はこれに準ずる方で文部科学大臣が指定した方（12 年に日本の学校教育制度における修学期間を含む場合は、その期間が通算 3 年以内であること）
 - ② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する方
 - ③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する方
 - ④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する方
 - ⑤ グレートブリテン及び北アイルランド連合王国（イギリス）において大学入学資格として認められている GCEA レベル資格又はインターナショナル A レベル資格を有する方（必要な各レベルにおける必要な科目数・評価は教学支援部入試課に問い合わせること）
 - ⑥ 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロピアン・バカロレア資格を有する方

上記(5)①「これに準ずる方で文部科学大臣の指定した方」に該当する方で、あらかじめ出願資格の有無を確認したい方は、以下のとおり申請してください。

- 申請対象者：次の各項目のいずれかに該当する方
 - ① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した方と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものも含む）に合格し、2026 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する方
 - ② 外国において高等学校に対応する学校の課程を修了した方（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものも含む）に合格した方を含む）で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了し、2026 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する方
 - ③ 外国において、指定された 11 年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した方
- 申請受付期間：2025 年 12 月 8 日（月）まで
- 申請の詳細については、教学支援部入試課までお問い合わせください。
 - ①・②に該当する検定に合格した方は、合格証明書及び成績証明書が必要です。
 - ②・③に該当する課程を修了した方は、修了（見込）証明書及び成績証明書が必要です。

* 日本留学試験 本学が指定する科目・得点

表記	科目名	読・聴（読解、聽読解・聴解） 物（物理） 化（化学） 生（生物） 総（総合科目） 理（理科） 数（数学）
	科目要否	○（必須科目） △（選択科目）

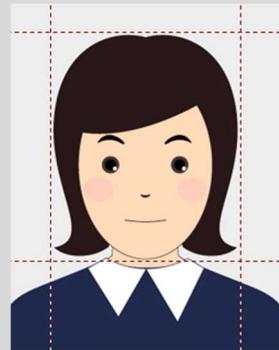
学部	学科・コース	出題言語	日本語		理科			総合科目	数学	
			読・聴	記述	物理	化学	生物		コース1	コース2
工 学 部	クリーンエネルギー化学コース 応用化学コース 機械工学コース	日本語	○	○	○	○	-	-	-	○
			合計得点が平均点の9割以上	25点以上	【理・数】総得点が各科目平均点の合計の9割以上					
	メカトロニクスコース 電気電子工学コース	日本語	○	○	○	△	△	-	-	○
			合計得点が平均点の9割以上	25点以上	【理】物必須、化・生から1科目選択 【理・数】総得点が各科目平均点の合計の9割以上					
	土木環境工学コース コンピュータ理工学コース	日本語	○	○	△	△	△	-	-	○
			合計得点が平均点の9割以上	25点以上	【理】物・化・生から2科目選択 【理・数】総得点が各科目平均点の合計の9割以上					
生 命 環 境 学 部	生命工学科	日本語	○	○	△	○	△	-	-	○
			合計得点が280点以上	35点以上	【理】化必須、物・生から1科目選択 【理・数】総得点が260点以上、各科目の得点が平均点以上					
	地域食物科学科 環境科学科	日本語	○	○	△	△	△	-	-	○
			合計得点が280点以上	35点以上	【理】物・化・生から2科目選択 【理・数】総得点が260点以上、各科目の得点が平均点以上					
	地域社会システム学科	日本語	○	○	-	-	-	○	○	-
			合計得点が260点以上	33点以上	【総・数】総得点が260点以上、各科目の得点が平均点以上					

5. 出願手続

出願期間内に Web 出願情報の登録、入学検定料の支払い、出願書類の提出 のすべてを完了してください。いずれか 1 つでも完了していない場合は出願を受理することはできません。

① 事前準備（用意するもの）

- インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレット等
- PDF ファイルを開くためのアプリケーション（アドビ社の Adobe Acrobat Reader を推奨）
- A4 サイズの印刷が可能なプリンター
自宅にプリンターがない場合は、学校や図書館などの公共施設のプリンターやコンビニエンスストアのプリントサービスを利用してください。
- 「@yamanashi.ac.jp」からの受信が可能なメールアドレス
- 出願書類
- 市販の角形 2 号封筒（24 cm × 33.2 cm）
- 証明写真（顔写真）データ
試験当日の本人確認で利用しますので、明暗以外は無加工の写真を準備してください。
なお、試験時間中に眼鏡をかける方は、眼鏡をかけて撮影した写真を準備してください。
 - ・証明写真機（写真データのダウンロードができるもの）やデジタルカメラ、スマートフォン、タブレットで撮影したもの。
 - ・試験日 3 ヶ月以内に単身で撮影したもの。
 - ・全体に対する顔の比率は、上下左右が上記の例の点線程度になっているもの。
 - ・カラー写真、上半身・正面、無帽、無背景、枠なしであること。
 - ・写真サイズは、縦 800px × 横 600px 以上（縦横比 4 : 3）、3MB 以内であること。
 - ・ファイル形式は、JPEGであること。（ファイル拡張子は jpg）



(良い顔写真の例)

② メールアドレスの登録

Web 出願サイト (<https://syutugan.yamanashi.ac.jp>) にアクセスし、「新規利用者登録」からメールアドレスを登録してください。登録後メールが届きますので、本文の案内に従い 30 分以内に次の手順に進んでください。



③ 利用者情報の登録（いつでも登録できます）

画面の案内に従って個人情報を常用漢字（JIS 第 1 水準・第 2 水準）で登録してください。
出願から入学までの間、本学からの通知を志願者本人が確実に受信できる連絡先（メールアドレス、住所、電話番号等）を登録してください。出願後に変更が生じた場合は、速やかに教学支援部入試課へ連絡してください。

④ 出願情報の登録（出願期間中のみ登録できます）

Web 出願サイト>マイページ>新規出願から、画面の案内に従い登録してください。

⑤ 入学検定料の支払い

Web 出願サイト>マイページ>検定料の支払いから、画面の案内に従いお支払いください。

⑥ 出願書類の提出

出願書類を作成・印刷し、原則、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で教学支援部入試課へ郵送してください。

⑦ 出願の受理

出願書類が受理されたら出願完了です。受験票の発行通知をお待ちください。
(出願期間終了日から1ヶ月以内(土・日・祝日を除く)にメールで通知します。(別に指定する場合を除く))

* 出願に関する留意事項

- 出願内容（Web出願情報・出願書類等）に不備がある場合は受理しないことがあります。
- 出願内容が事実と相違していた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- 出願受理後は、いかなる理由があっても出願内容の変更は認めません。
- 出願受理後は、いかなる理由があっても出願書類の返却はできません。

(1) 出願期間

2025年12月19日(金)～2025年12月25日(木) 16時30分【必着】

出願期間内に Web出願情報の登録、入学検定料の支払い、出願書類の提出 のすべてを完了してください。いずれか1つでも完了していない場合は出願を受理することはできません。

(2) 入学検定料の支払い

入学検定料：17,000円

- Web出願サイトの「検定料の支払い」で、①～④から支払方法を選択して下さい。
 - ①クレジットカード、②コンビニエンスストア、③金融機関ATM(Pay-easy)、④ネットバンキング
- **クレジットカード以外の支払方法は入金確認に2時間程度かかります。**
(入金が確認されないと出願書類の印刷に進むことができませんので注意してください。)
- すべての支払方法において手数料は志願者負担になります。
- 海外からの支払方法はクレジットカードのみです。
- 出願受理後は、下記「*入学検定料の返還」の対象者を除きいかなる理由があっても既納の入学検定料は返還できません。

*入学検定料の免除

- 対象者……………次の災害に被災された方に対し、入学検定料免除の特別措置を行います。

東日本大震災、平成28年熊本地震、平成30年7月豪雨、平成30年北海道胆振東部地震、令和元年台風第15号及び第19号、令和2年4月以降に発生した災害救助法の適用となる災害

- 必要書類……………ホームページ(<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3787>)を確認してください。
- 受付期間……………出願期間開始日の1ヶ月前～出願期間開始日の前日
- お問い合わせ先……山梨大学教学支援部入試課

〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37

TEL: 055-220-8046 E-mail: nyushi@yamanashi.ac.jp

*入学検定料の返還

- 対象者………出願が受理されなかった方に限り、入学検定料を返還します。
- 請求方法………対象者に別途通知します。

(3) 出願書類

出願書類一覧表

◎全員提出

学部	卒業(見込)成績証明書	受験票(写し)	日本留学試験(写し)	TOEFL又はTOEICの成績証明書(写し)	履歴書	旅券(海外在住の方の写し)
工学	◎	◎	◎	◎	◎	◎
生命	◎	◎	◎	◎	◎	◎

出願期間中に提出する書類

☆の様式は必ず本学ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/291>) からダウンロードしてください。

出願書類	摘要（原則 A4 サイズで提出すること）
卒業(見込)証明書 及び成績証明書（原本）	<ul style="list-style-type: none"> ・出身学校長等が作成した、最終学歴（高等学校等）の卒業(見込)証明書及び成績証明書の原本を提出すること ・原本を提出できない場合（卒業時に 1 通しか発行してもらえない場合等）は、証明書の写し及び原本を提出できない旨の理由書（様式任意）を提出すること ・英語以外の言語で記載されている場合は、日本語訳（様式任意、作成者は問わない）を添付すること <ul style="list-style-type: none"> ● 出願資格(5)① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した方 ・最終卒業高等学校の卒業(見込)証明書及び成績証明書を提出すること <ul style="list-style-type: none"> ● 出願資格(5)②（国際バカロレア資格）により出願する方 ・国際バカロレア資格証明書及び成績証明書を提出すること <ul style="list-style-type: none"> ● 出願資格(5)③（アビトゥア資格）により出願する方 ・一般的大学入学資格証明書及び成績証明書を提出すること <ul style="list-style-type: none"> ● 出願資格(5)④（バカロレア資格）により出願する方 ・バカロレア資格証明書及び成績証明書を提出すること <ul style="list-style-type: none"> ● 出願資格(5)⑤（GCEA レベル資格又はインターナショナル A レベル資格）により出願する方 ・成績証明書を提出すること <ul style="list-style-type: none"> ● 出願資格(5)⑥（ヨーロピアン・バカロレア資格）により出願する方 ・ヨーロピアン・バカロレア資格証明書及び成績証明書を提出すること
日本留学試験 受験票（ <u>写し</u> ）	<ul style="list-style-type: none"> ・「成績確認書」は不可 ・2025 年度日本留学試験（第 1 回又は第 2 回）の受験票の写し ・原本を提出した場合、原本は返却しないので注意すること
TOEFL 又は TOEIC の成績証明書（ <u>写し</u> ）	<ul style="list-style-type: none"> ・本学が指定する TOEFL 又は TOEIC の種類【別表 1】に明記されている提出書類の<u>写し</u>（いずれか 1 つ）を提出すること ・2024 年 1 月以降に受験したものかつ結果が出願時に提出できるものに限る ・原本を提出した場合、原本は返却しないので注意すること
履歴書	<ul style="list-style-type: none"> ・Web 出願サイト>マイページ>出願書類印刷から印刷したもの ・学歴は、小学校入学から最終学歴までを入力すること ・日本語の学習歴は、日本語学校の学習歴を入力すること
住民票 (海外在住の方は旅券 の <u>写し</u>)	<ul style="list-style-type: none"> ・住居地の市区町村長が交付する国籍、在留資格及び在留期間が記載されたもの ・出願時に海外在住の方は、旅券の写し（顔写真のページ）を提出すること

【別表1】本学が指定するTOEFL又はTOEICの種類

試験の種類	テストの種類	提出書類（いずれか1つの <u>写し</u> ）
TOEFL (ETS)	会場受験 iBT テスト	・ Test Taker Score Report
	自宅受験 iBT テスト (TOEFL iBT Home Edition)	
TOEIC Program (ETS)	Listening & Reading テスト (公開テスト) (Bridge テストを除く)	・ TOEIC 公式認定証* (Official Score Certificate)

* デジタル公式認定証についてはA4用紙に印刷の上、提出してください。

* 出願書類の作成方法

- 作成方法は、指定がないものについては自筆・パソコンを問いません。
- 自筆の場合は、ボールペン（消せるボールペンは不可）を使用し、楷書で記入の上、原本（写しは不可）を提出してください。また、訂正する場合は、修正液等の使用や紙面の削り取りはせず、訂正する箇所に二本線を引き訂正印を押してください。
- 文字色は黒色とします。数字は原則算用数字を用いてください。

(4) 出願書類の提出方法

- ① Web出願サイト>マイページ>出願書類印刷から印刷した「出願書類等チェックリスト（提出不要）」で、出願書類が全て揃っているか最終確認してください。
- ② Web出願サイト>マイページ>出願書類印刷から印刷した「封筒貼付票」を市販の角形2号封筒に貼付の上、出願書類を封入してください。
- ③ 出願期間内に本学へ到着するよう、郵便局窓口から簡易書留速達郵便で郵送してください。
山梨大学教学支援部入試課 ☎400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37 TEL: 055-220-8046
Admission Division, University of Yamanashi, 4-4-37 Takeda, Kofu, Yamanashi 400-8510, Japan

* 海外在住の方に限りPDFファイルでの提出を認めます。

- ① Web出願サイト>マイページ>出願書類印刷から印刷した「出願書類等チェックリスト（提出不要）」で、出願書類のPDFファイルが全て揃っているか最終確認してください。
- ② 出願書類のPDFファイルを教学支援部入試課へ送信した後、当日中に電話をしてください。
(山梨大学教学支援部入試課 E-mail: nyushi@yamanashi.ac.jp TEL: +81-55-220-8046)
- ③ 入学後、本学登校初日から1週間以内【厳守】に出願書類の原本を提出してください。
 - ・工 学 部 工学域支援課教務グループ
 - ・生命環境学部 生命環境学域支援課教務グループ
 - ・受 付 時 間 平日（土・日・祝日を除く） 8:30～12:00・13:00～17:15
- ④ PDFファイルに改ざん等の虚偽が発覚した場合、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

* Web 出願の注意点（よくある質問）

- ① 「氏名」は、日本語及びアルファベットで入力してください。
外国語等を使用せず、フルネームを入力してください。
- ② 「フリガナ」はカタカナで入力してください。
カタカナが分からぬ場合は、半角英字で入力してください。
- ③ 「氏名アルファベット」は半角英字で入力してください。
- ④ Web 出願サイトにおいて、住所や履歴等の情報を簡体字で入力した場合、書類が正しく印刷されませんので、繁体字で入力してください。
- ⑤ 氏名や住所等が入力文字数を超える場合は、履歴書（出願書類）の空白部分に入力できなかつた内容を加筆して提出してください。
- ⑥ 「日本国内での連絡先（志願者以外）」は、志願者本人が不在の場合、速やかに本人に連絡をとることができの方（日本語学校の先生、親族、友人等）の連絡先を入力してください。
海外在住の方で、日本国内の連絡先が無い場合は、志願者の連絡先を入力してください。
- ⑦ 「出願資格（資格試験）」は、大学入学に必要な資格（国際バカロレア資格やアビトゥア資格等）を取得した場合に、資格名称・取得年月を入力してください。
- ⑧ 「在留資格」は、出入国管理及び難民認定法に定める在留資格を入力してください。
海外在住者は「なし」と入力してください。

(例) ○ 張 又は Zhang

× 张（簡体字）

(例) チョウ 又は Zhang

(例) Zhang

6. 障害等のある入学志願者の事前相談

本学に入学を志願する方で、病気・負傷や障害等のために、受験上の配慮を必要とする方は、出願に先立ち、本学と事前相談を行ってください。

相談方法等は、本学ホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3794>）を参照してください。

受付期間：出願期間開始日の1ヶ月前から出願期間開始日の前日まで

- 受験上の配慮を希望する方は、原則として受付期間内にご相談ください。
- 希望内容によっては期間内にご相談いただいた場合でも対応できないことがありますので、あらかじめご了承願います。
- 受付期間を過ぎて申請された場合、提供できる受験上の配慮が限られていきますので、できるだけ早めにご相談ください。

また、学生サポートセンターでは障害のある学生の修学相談や支援調整を行っています。以下の問い合わせ先では、修学上の配慮を希望している方の事前相談に随時応じています。

事前相談は、受験及び修学上の配慮の調整を円滑に行い、建設的な対話を通してよりよく進めるためのもので、障害等のある入学志願者の受験や修学を制限するものではありません。

お問い合わせ先

学生サポートセンターアクセシビリティ・コミュニケーション支援室

〒400-8510 甲府市武田4-4-37 B1号館

ホームページ：<https://www.sp-needs.yamanashi.ac.jp/>

E-mail：sp-needs@yamanashi.ac.jp

電話：055-220-8467

7. 受験票

本学からの受験票の送付はありません。

受験票はWeb出願サイトから印刷し、試験当日に必ず持参してください。

【印刷可能通知】出願期間終了日から1ヶ月以内（土・日・祝日を除く）にメールで通知

【印刷可能期間】通知の受信日～令和8年3月31日まで

【印刷方法】Web出願サイト>マイページ>受験票から印刷

- 上記期日を過ぎても受験票が印刷できない場合は、教学支援部入試課へお問い合わせください。
- 受験票の印刷方法は、白色のA4用紙、倍率100%、カラー印刷とします。
- 受験票にはWeb出願サイトに登録された氏名を使用します。
- 受験票を紛失・汚損等した場合は、Web出願サイトから再度印刷してください。
- 受験票の余白や裏面には何も書き込まないでください。
- 工学部を受験する場合、来学を伴う試験は実施しませんが、合格発表時の受験番号確認や合格後の入学手続の際に必要となりますので、受験票は必ず印刷してください。

8. 選抜方法

(1) 選抜方法の概要

学部	学科・コース	共通テスト	個別学力検査	実技検査等			
				実技	小論文	面接	その他
工 学 部	クリーンエネルギー化学 コース	-	-	-	-	-	*
	応用化学コース	-	-	-	-	-	*
	土木環境工学コース	-	-	-	-	-	*
	コンピュータ理工学コース	-	-	-	-	-	*
	機械工学コース	-	-	-	-	-	*
	メカトロニクスコース	-	-	-	-	-	*
	電気電子工学コース	-	-	-	-	-	*
生命 環 境 学 部	生命工学科	-	-	-	-	○	*
	地域食物科学科	-	-	-	-	○	*
	環境科学科	-	-	-	-	○	*
	地域社会システム学科	-	-	-	-	○	*

* 日本留学試験、成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を利用します。

(2) 選抜方法・合否判定基準

工 学 部	日本留学試験、成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定します。ただし、日本留学試験や TOEFL 又は TOEIC の評価が合格判定基準を満たさない場合は不合格になります。総得点が同点の場合は同順位とし、合格ライン上の同点者全員を合格とします。
生 命 環 境 学 部	日本留学試験、面接、成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定します。ただし、面接の評価が合格判定基準を満たさない場合は不合格になります。総得点が同点の場合の取扱いについては、入試の適正な実施に支障が生じかねないという観点から非公表とします。

(3) 選抜期日・場所 及び 検査内容

工学部

日本留学試験、成績証明書、TOEFL 又は TOEIC の成績を総合して判定し、個別学力検査等は実施しませんので、来学の必要はありません。

生命環境学部

期日：2026年1月30日（金）

場所：山梨大学甲府キャンパス（山梨県甲府市武田4-4-37）

学 科	集合時刻	集合場所	検 査
生命工学科 地域食物科学科 環境科学科 地域社会システム学科	10:00	甲府西キャンパス S1号館	面 接

● 試験終了時刻は受験者数により変わります。

9. 受験上の注意

- (1) 試験当日は、本学受験票、日本留学試験の受験票（原本）、鉛筆又はシャープペンシル（芯は黒色に限る）、消しゴム（砂消しを除く）を必ず持参してください。なお、これらのものを大学で貸出はいたしません。
- (2) 試験前日の 14 時～16 時は試験場の下見を認めます。ただし、下見は建物入口までとし、建物内の下見は認めません。
- (3) 課せられた試験を 1 つでも受験しなかった場合、受験した全試験の成績を無効とします。
- (4) 不正行為*を行った場合、その場で受験の中止と退室を指示し、受験した全試験の成績を無効とします。
- (5) 受験票に表示された試験場以外では、いかなる理由があっても受験できません。
- (6) 遅刻した場合は、集合時刻から 30 分以内に限り受験を認めます。ただし、試験時間は延長しません。
なお、試験場に向かう途中の事故または公共交通機関の遅延等によるやむを得ない場合はこの限りではありません。やむを得ない事情で遅刻する場合は、集合時刻までに教学支援部入試課（TEL：055-220-8046）に電話してください。
- (7) 自動車による入構はできません。電車・バス等の公共交通機関を利用して下さい。
- (8) 試験当日に試験実施が困難になるような不測の事態（災害等）が発生した場合、ホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/9604>）に対応措置等を掲載します。
- (9) 出願後から試験当日までに、連絡事項等をホームページ（https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list）に掲載する場合がありますので、試験の前に必ず確認してください。

*不正行為

- Web 登録情報、出願書類、受験票、解答用紙等へ故意に虚偽の記入（Web 出願サイトに本人以外の顔写真を登録すること、解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入すること等）を行うこと
- Web 出願サイトに顔面や身体部分を明らかに加工した顔写真の登録を行うこと
- 試験時間中に、使用を許可されていない補助具を使用すること
- 試験時間中に、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）・タブレット端末・電子辞書・IC レコーダー等の電子機器類を使用すること
- 試験時間中に携帯電話や時計等の音を長時間鳴らす等、試験の進行に影響を与えること
- 試験時間中に、使用を許可されていない補助具・電子機器類及び書籍類をかばん等にしまわず、衣服の中も含め身に付けていたり手に持つなどの行為を行うこと
- 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出を行うこと
- 試験場において他の受験者の迷惑となる行為を行うこと
- 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと
- その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為を行うこと

10. 合格者発表

2026 年 2 月 10 日（火）16 時頃

- ホームページ（https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list）に合格者の受験番号を掲示します。
- 合格者に合格通知書（Web 出願サイトに登録された氏名を使用）を送付します。
なお、海外在住の方へは国際郵便で送付します。

- 大学構内での掲示は行いません。また、電話等による合否のお問い合わせには応じません。
- 本学では合否電報の受け付けは一切行っておりません。また、そういう行為を団体・個人に委託することもありません。合否電報に関するトラブル等が発生しても本学では責任を負いません。

11. 入学手続

2026年 2月12日（木）～ 2026年 2月18日（水）

- 期間内に入学手続を完了しなかった方は、入学の意志がなく入学を辞退したものとみなします。
- 入学手続関係書類は、合格通知書とともに送付します。
- 入学時の主な必要経費は次のとおりです。なお、金額は変更することがあります。
 - ・入学料 282,000円【予定】
 - ・授業料 年額 535,800円（前期 267,900円・後期 267,900円）【予定】
 - ・後援会費・同窓会費・学友会費等
 - 工学部 50,000円（後援会費・同窓会費・学友会費等、4年分）【予定】
 - 生命環境学部 48,000円（後援会費・同窓会費・学友会費等、4年分）【予定】
 - ・学生保険 保険料（学生保険への全員加入を本学の方針としています）
- 入学料・授業料の免除又は徴収猶予については、ホームページ（<https://www.yamanashi.ac.jp/campuslife/345>）を参照してください。
- 入学手続後、他大学の合格などにより4月に本学へ入学する意志のない方は、期日までに入学辞退手続をしてください。入学辞退手続をしなかった場合、本学に在籍している状態になるため、授業を受講しなくても4月からの授業料の支払い義務が生じます。詳細は、入学手続関係書類を確認してください。
- 本学では工学部の入学生のみを対象とした日本学生支援機構（JASSO）留学生受入れ促進プログラム（文部科学省外国人留学生学習奨励費）渡日前入学許可制度の学校推薦枠があります。推薦及び給付の要件や申請手続等の詳細については合格通知書に同封の案内を確認してください。なお、申請者全員が推薦及び給付を受けられるわけではありません。

12. 入試情報の開示

- 受験者本人の申請により、本人のみに入試成績を開示します。
- 詳細は、2026年4月以降にホームページ（https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list）でお知らせします。

13. 個人情報の取扱い

「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人山梨大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づき、次のとおり取り扱います。

- (1) 選抜実施において取得した個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務、④統計調査、⑤志願動向の分析や今後の入学者選抜方法検討や、大学教育の改善に関する調査・分析、⑥合格者に対する入学前教育及び入学前イベントの実施、⑦安全保障輸出管理に関するこに利用します。なお、これらの調査・分析結果を公表する際は、個人が特定されないような形に処理します。

- (2) 入学者については、知り得た個人情報を、①教務関係（学籍・修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除、奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
- (3) 上記業務の利用にあたり、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者（受託業者）において行なうことがあります。この場合、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。
- (4) 個人情報及びプライバシー情報保護のため、本選抜実施において取得した個人情報は、それが記載された書類及びデータ自体のいずれの形においても、厳重に秘匿され、上記の目的以外での利用は行わないことに加え、法令等により開示を求められた場合等を除き、第三者に開示することもありません。

14. 安全保障輸出管理

「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人山梨大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際して厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育を受けられない場合や研究ができない場合があります。

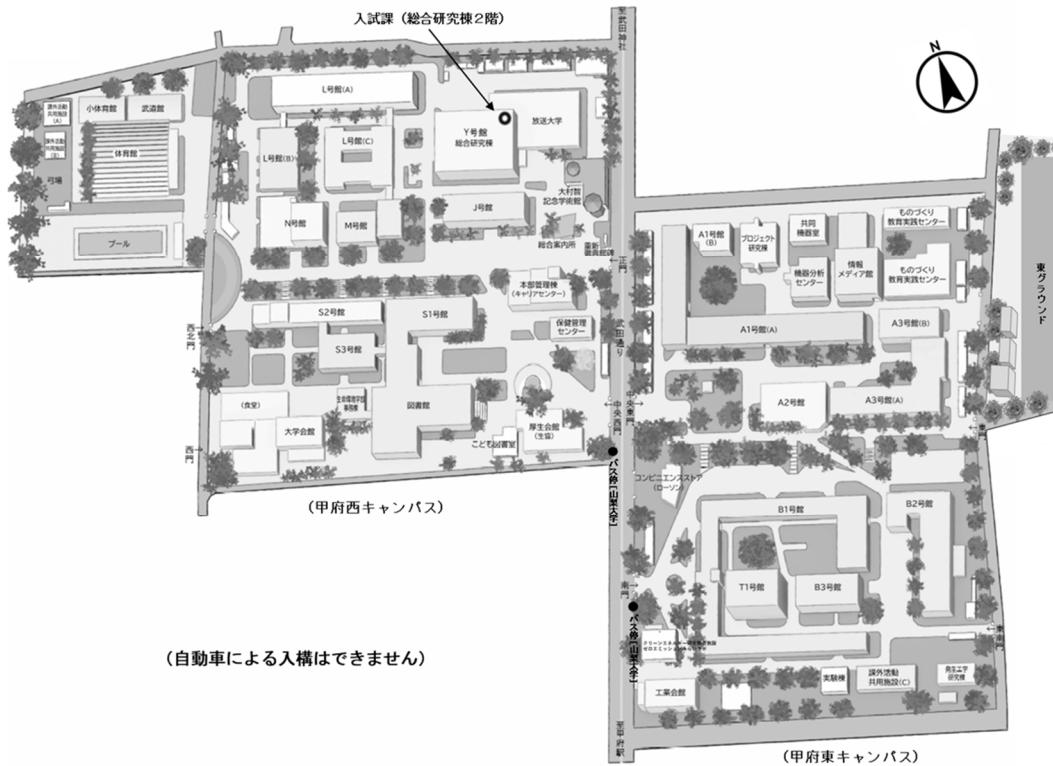
15. 入学試験における感染症対応

入学試験当日において、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、水痘等）に罹患して治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがあるため受験できません。なお、受験できない場合の追・再試験や別室受験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いませんので、万全の態勢で試験当日を迎えるよう、体調管理には十分注意してください。

16. 甲府キャンパス案内図

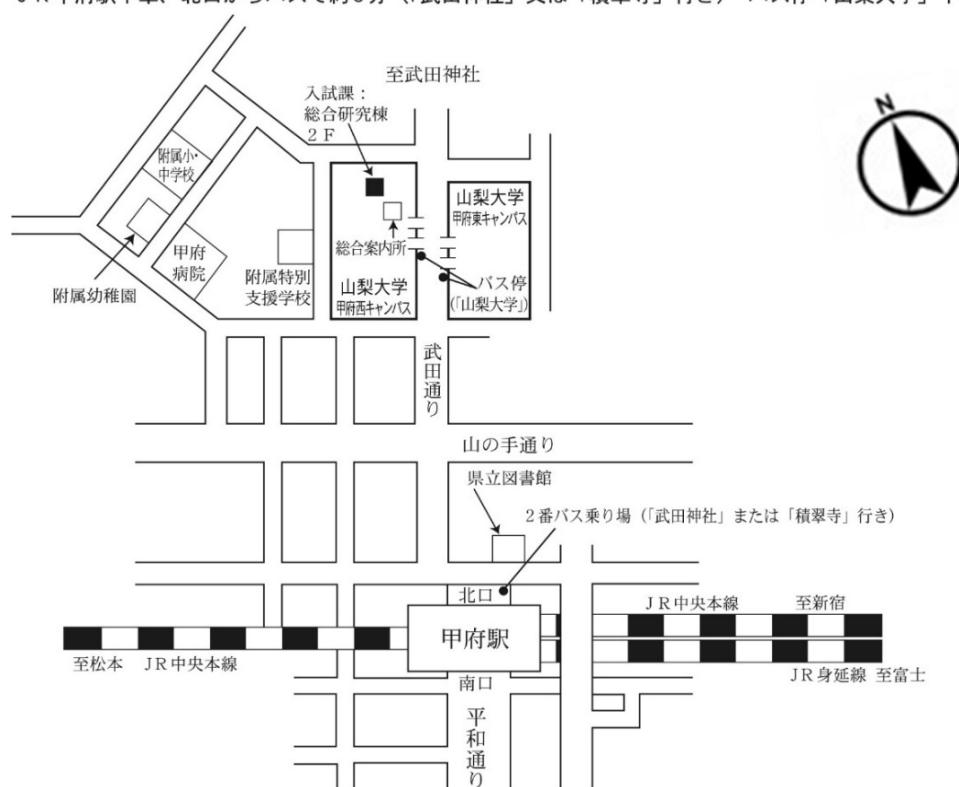
所在地 〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37

甲府キャンパス建物配置図 (<https://www.yamanashi.ac.jp/campusmap>)



甲府キャンパス周辺図

JR甲府駅下車、北口から徒歩約15分
JR甲府駅下車、北口からバスで約5分（「武田神社」又は「積翠寺」行き）バス停「山梨大学」下車



お問い合わせ先

山梨大学 教学支援部 入試課

住所	〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37
TEL / FAX	055-220-8046 / 055-220-8795
メール	nyushi@yamanashi.ac.jp
ホームページ	https://www.yamanashi.ac.jp
Web 出願サイト	https://syutugan.yamanashi.ac.jp
窓口対応時間	平日(月～金) 8:30～12:00・13:00～17:15 *土・日・祝日、夏季一斉休業(8/14～18)、年末年始(12/29～1/3)を除く